

20170619「町村議の担い手不足なぜ？（北海道新聞：ニュース虫めがね）」

—— 人口減や高齢化、低報酬も一因 ——

Q 北海道町村議会議長会が「地方議会の議員になる人が減っている」と訴えて、国に対策を要望することになりました。

A 地方議会で議員になろうと選挙に立候補する人の数が議員定数を上回らず、有権者の投票がないまま当選者が決まる無投票当選が増えていきます。道内 144 町村の最近の選挙で無投票当選が 46 町村と、全体の 3 割を超えました。十勝管内浦幌町は 2015 年の統一選で、11 人の議員定数に立候補が 10 人しかいなくて、定数割れになりました。今月 13 日に告示された十勝管内中札内村の村議の補欠選挙(欠員 1)では立候補者がいませんでした。

Q 北海道だけで起きていることですか。

A 道外でも同じことが起きています。高知県大川村は、村議になる人が将来足りなくなることを予想して、有権者全員が村の予算などの議案を審議する「村総会」の設置を検討すると表明して話題になりました。

Q どうしてそんなことが起きているのですか。

A 人口減少や高齢化、経済の低迷などで地方の疲弊が進んでいるからだと言われています。自治体の多くが財政に余裕がなくていろんな改革を行う中で、議会も定数を減らしたり、報酬を下げたりしてきました。道内の町村議員の報酬は、北海道町村議会議長会によると、都道府県別でワースト 3 位の月額 17 万 7893 円。待遇が必ずしも良くないことも、理由の一つだと言われています。

Q 北海道町村議会議長会は国にどんなことを要望するのですか。

A 若者や女性が議員になりやすいよう、兼業や育児でも議員活動を続けられる支援策を求めています。議員に立候補する時に仕事を休めることができたり、選挙が終わった後に仕事に戻れたりすることも要望しています。議員報酬を含めた待遇の改善や、廃止された議員年金に代わって厚生年金に加入できる法律の整備も訴えています。

ほかにも、選挙運動用の自動車使用とポスター作製の公費負担も求めています。市議は条例を制定するという条件で認められるけど、町村議は認められていません。

Q そもそも議員が少ないと問題があるのですか。

A 議員には住民の意見を広く吸い上げ、行政に反映させる大事な役割があります。一方で、有権者は議員の働きぶりに不満を感じることも少なくありません。議員の待遇や労働環境を良くするなら、有権者に納得してもらえる丁寧な議論が欠かせません。

〈北海道町村議会議長会の国への主な要望事項〉

- ① 若者や女性の議員を増やすための社会保障制度の充実
- ② 議会活動のための休暇や変則勤務を認める仕組み
- ③ 議員立候補時の休職や復職を認める環境整備
- ④ 選挙運動用の自動車使用とポスター作製の公費負担
- ⑤ 議員報酬を含めた労働環境の改善
- ⑥ 厚生年金制度加入に向けた法整備と退職金の支給